

ハチミツの新需要 柔軟な発想で開拓

京都発



金市商店

大正・昭和のレトロな建物が並ぶ京都・三条通沿いに本社を構え、関西の主要百貨店にも出店する直営店「ミール・ミイ」を通じ、国内の養蜂家から直接仕入れたハチミツを販売する。新商品も相次ぎ販売し、伝統と革新の街・京都で異彩を放つ。

「一子相伝」で学ぶ

会社を率いるのは、2016年に社長に就いた創業家3代目の市川拓三郎氏(35)。「振り返ると、幼稚園、小学校の文集などに『ハチミツ屋さんになりたい』と書いており、家業を継ぐことは当然と思っていた」。創業家の祖父、そして父から品質の良いハチミツを見分ける目利き力を「一子相伝」で学ぶ一方、営業担当の母からは国内消費が減るハチミツの新たな魅力づくりの大切さを教わった。

会社の創業は昭和の初期。当初は青果などを扱う個人商店だったが、現在の本業となるハチミツを取り扱うきっかけが、戦争だった。当時、砂糖は配給物



自社のハチミツ商品を手にする金市商店の市川拓三郎社長。9日、京都市中京区の直営店「ミール・ミイ」三条本店

資となり、京都の和菓子屋は甘味の原料の仕入れに困っていた。一方、戦争の影響で滋賀県へ疎開した祖父、末吉が養蜂家と知り合い、ハチミツを仕入れることができるようになり、困っていた和菓子屋に砂糖の代用品としてハチミツを提供した。

戦後、株式会社としての設立を機に本業をハチミツの仕入れ、販売に専念するようになった。ただ、時代は平成に代わり、消費の多様化などでハチミツの需要も徐々に低迷。父の代ではハチミツの需要を少しでも広げようと1998年、造語で「私のハチミツ」を探してほしいという意味を込めた直営店「ミール・

ミイ」の展開を始め消費者向けの小売り事業を強化した。

コスメやパンも

関西大で経済学を学び、食品輸入会社で3年勤めた後、家業に入った3代目の拓三郎社長は「経営者としてまだ若い、そんな発想を逆手に」という考えでハチミツに関心がない消費者層に振り向いてもらう新商品の開発、販売に力を入れる。大学時代に学生新聞の編集・製作に関わった経験から「今のトレンド(流行)も踏まえ、ハチミツをいかに好きになってもらえるか」の発想を突き詰める。

例えば、唇に塗るのに使う

ユーブ状の容器入りハチミツ(税抜き600円)を今年春から商品化。韓国コスメが若い女性にはやっている状況を踏まえたもので「ハチミツが昔から美容・保湿にいいことで使われていた」(市川社長)ということを知ってもらおう狙いで販売。意外にも、京都を訪れた外国人が土産として購入する事例が目立ち、8月からは「桜」「藤」「クローバー」から獲れたハチミツを使った和柄の製品を投入。今後は空港の売店などで販売が始まる見通しという。

このほか「知名度があまりないが、映画やゲームの世界に登場する」(市川社長)というミード(ハチミツ酒)の国産化に着手。梅酒に定評がある城陽酒造

(京都府城陽市)と共同開発したミードを製品化。また、ハチミツ入りクリームパンの販売も始め、インスタ映えを意識し、金箔がのっていたり、動物の顔をかたどったりしたパンを相次ぎ販売。百貨店のジェイアール京都伊勢丹(京都市下京区)に専門店を出店する反響ぶりだ。

市川社長は、ハチミツの魅力を「世界的に健康に良いイメージがあり、ウイスキーのように、花や収穫場所、収穫時期の違いで味わいも違う」と語る。2030年に創業100周年。京都で老舗とは認めてもらえないが、子供らに「会社をバトンタッチできるような良い企業にするのが役目」と将来を見据える。

(西川博明、写真も)

■会社概要

- ▷本社=京都市中京区三条通富小路西入中之町21 (075・221・6639)
- ▷創業=1930(昭和5)年
- ▷資本金=1000万円
- ▷売上高=約4億5000万円(2018年9月期)
- ▷従業員数=45人(パート・アルバイト含む、19年8月現在)
- ▷事業内容=ハチミツに関連する商品の製造、卸売り・小売り

ハザードマップ

レオパレス問題で受注減少に拍車

▶矢野木材 矢野木材は7月31日に事業を停止し、破産手続きを弁護士に一任した。

同社は木材、新建材、住宅設備機器の販売業者。千葉県内の住宅建築業者を主体に販路を広げ、都内の大手や中堅ビルダーにも受注基盤を構築し、ピークとなる2007年5月期には売上高8億9290万円を計上した。

しかし、その後は売上げ不振により徐々に業績が悪化。追い打ちをかけるように、主力受注先だったレオパレス21で施工不良問題が噴出し、同社からの受注減少が業績改善を妨げた。

金融機関に返済条件の見直しを打診するなど、経営再建に向けた動きを見せたものの、資金

繰りは改善されず、今年7月末の決済のめどが立たないことから、今回の措置となった。

▶冠心会 債権者から破産を申し立てられていた医療法人社団の冠心会は7月31日、東京地裁から破産手続きにおける包括的禁止命令および保全管理命令を受けた。

心臓病専門病院「大崎病院 東京ハートセンター」を運営。遠藤真弘理事長は、心臓・血管疾患などの著名な専門医で、心臓血管外科や循環器内科、放射線科、麻酔科を診療科目として2018年3月期は売上高41億171万円を計上した。

しかし、過去の赤字や施設へ

の投資負担などから債務超過が続いたほか、病院賃借料や仕入

〈チェックポイント〉

矢野木材はレオパレス21からの受注減が直撃した。同グループを主力販売先とするのは建設、不動産業など615社で、9割が資本金1億円未満の中小企業(東京商工リサーチ調べ)。多くの下請け業者が関わるだけに、一連の不祥事の影響は甚大だ。それと同時に、1社傾注の受注依存の怖さをあらためて示し



矢野木材/冠心会

れ先への支払い遅延などがあり、一部は訴訟トラブルとなっ

た。冠心会は週刊誌で資金流用などが報じられ、理事長が兼務する病院の破綻や、未払いなどの信用不安も浮上した。ホームページでは所属医師の退職のお知らせも相次ぐなど、名門の信用も失墜。債権者から破産を申し立てられたが営業は継続中で、地裁が破産手続きの開始決定を下すか、注目が集まっている。

(東京商工リサーチ常務情報本部長 友田信男)

ていた。

19年4月には一部週刊誌で理事長夫人の法人資金の流用疑惑が報じられるなど信用が低下。また、4月24日には当時、遠藤氏が理事長を兼務していた医療法人の一成会(さいたま市)が17億2403万円の負債を抱えて東京地裁へ民事再生法の適用を申請し、影響が懸念されていた。

なお、「大崎病院 東京ハートセンター」は営業を継続している。

矢野木材

- ▷本社=千葉県船橋市
 - ▷設立=1964年2月
 - ▷資本金=1000万円
 - ▷負債額=5億4072万円
- 社団冠心会
- ▷所在地=東京都品川区
 - ▷設立=1994年9月
 - ▷理事長=遠藤真弘氏
 - ▷負債額=34億6255万円

遊技産業NOW

シリーズ3部作や劇場版も収録の「P北斗の拳8霸王」

人気タイトル最新作が、スベック、演出ポリュームともにパワーアップして登場



サミー(東京都品川区)は7月3日、東京都台東区の東京支店ショールームでパチンコ新機種「P北斗の拳8霸王」の内覧会を開催した。シリーズ最新作となる今作には「拳王編」「天帝編」「修羅の国編」の全3部作のほか、劇場版「ケンシロウ伝ZERO編」も収録した。

■サミー

大当たり確率319分の1、確変割合66%の確変ループレタイプ。小当たりRUSHを搭載し、10ラウンド確変と小当たりRUSHによる次世代型HYPER BONUS「究極神拳RUSH」が特徴で、小当たりRUSHへは、10ラウンド大当たりを経由して突入する。

RUSH中は4種類からステ

ージを選ぶことができ、それぞれのステージで異なる対戦相手とバトルを展開。バトル勝利時の61%で10ラウンド確変(出玉約1500個)&再び小当たりRUSHへ、39%で4ラウンド確変(約600個)&サポ&確変「BATTLE MODE」に移行する。

パチンコホールへの導入は9月上旬を予定。